

総務委員会資料

所管事務の調査（報告）

川崎市SDGs登録・認証制度「かわさきSDGsパートナー」の創設について

資料 川崎市SDGs登録・認証制度「かわさきSDGsパートナー」の創設について

令和3年2月4日
総務企画局

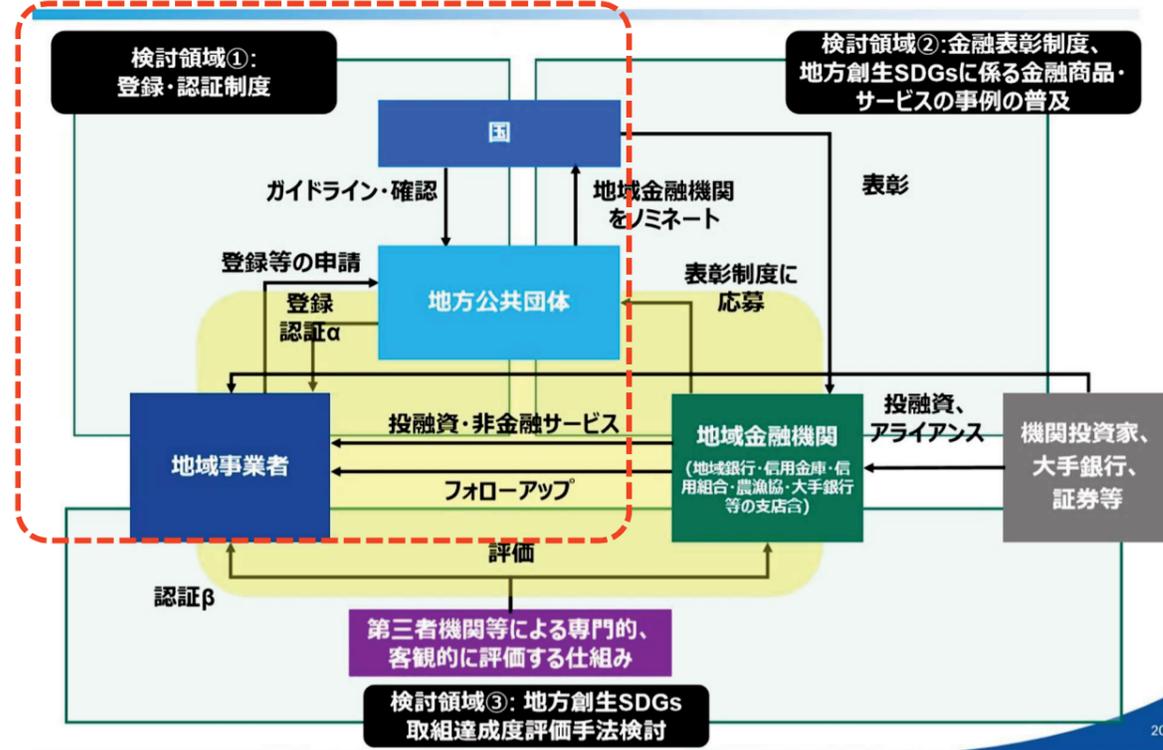
I 制度創設の背景と目的 (趣旨)

1 制度創設の背景

(1) 国の動き

- 政府のSDGsアクションプラン2020では、SDGs実施指針の下、SDGsを原動力とした地方創生に取り組むためには、**地域社会と経済を支える中小企業への更なる浸透が必要**であり、**地方公共団体には、官民連携による地域課題の解決を一層推進させること等が期待**されている。
- 具体的な施策として、内閣府が設置した「地方創生SDGs金融調査研究会」を中心に、SDGs達成に寄与する地域事業者が地域金融機関からの投融資を促す仕組み「地方創生SDGs金融フレームワーク」が検討された。本フレームを通じた自律的好循環の形成に向けて、**地方公共団体には、「登録・認証制度」を構築・運用することにより、地域事業者の取組を評価及び見える化する役割が求められている。**

地方創生金融フレームワークのイメージ (出所：内閣府)



(2) 社会の動き

- 国内では、政府のアクションプランに基づき、各省、産業界、経済界の動きが加速するとともに、ESG投資、ESG経営、脱炭素に向けた動きなど、**企業等を取り巻く社会経済状況は大きく変化**しており、**SDGsに取り組むことで、地域の様々な主体とつながり、持続可能性を高めることが企業等の経営戦略として重要**といわれている。

(3) 他自治体の動き

- 自治体において「登録・認証制度」構築に向けた動きが広がっており、長野県の「長野県SDGs推進企業登録制度(令和元年)」、神奈川県「かながわSDGsパートナー(令和元年)」をはじめ、**県内でも横浜市、相模原市が令和2年度から制度を創設した。**

2 制度創設の目的

- SDGs達成のためには、本市自らが積極的に取組を進めるだけでなく、地域の様々なステークホルダーによる主体的な取組が不可欠である。
- 制度を通じて、SDGs達成に向けた**市内事業者の取組の「見える化」**を行い、**様々なステークホルダーや地域金融機関と連携して、市内事業者への支援を実施**することで、**さらなる取組の推進及び取組の裾野の拡大を図り、市内におけるSDGsの取組の活性化**につなげることを目的とする。

II 検討の経過

1 市内企業等へのヒアリング

- 本制度の実用性を高めるため、市内中小企業や地域金融機関等にヒアリングを行い、手続きや提出書類、登録・認証企業に対するインセンティブなど制度設計に向けて意見を反映させた。

III 川崎市SDGs登録・認証制度「かわさきSDGsパートナー」の概要

1 基本的な考え方

- SDGsを広く普及するため、**チェックリスト形式の申請書などにより、書類作成の負担を軽減し、地域の事業者が参加しやすい制度**とする。
- SDGsの取組を拡大するため、**申請書類作成の過程で、事業活動とSDGsの関係性や今後の取組について気付きを得られるような様式**とする。
- 本市の特色を踏まえ、「かわさき☆えるぼし認証制度」「低CO2川崎ブランド・川崎メカニズム認証制度」をはじめ本市が設置している様々な既存の認証制度との連携を図るとともに、「**環境**」や「**地域**」の課題解決に向けた取組を重視する。

2 募集対象

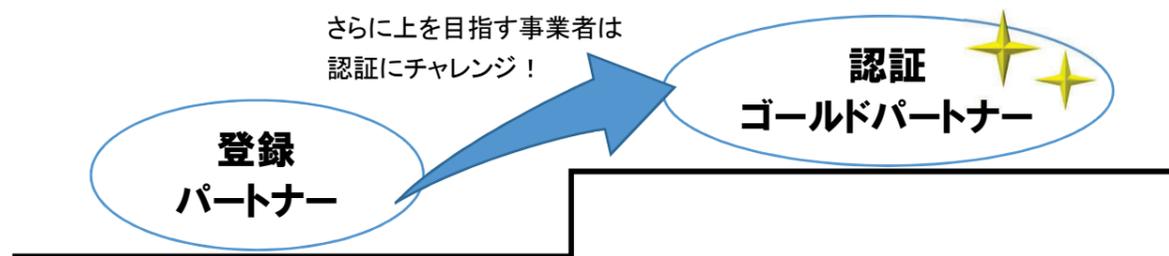
- 多様なステークホルダーの連携を進めるため、**企業だけではなく、NPO法人、市民団体、教育・研究機関等も本制度の対象**とする。

企業 川崎市内に事業所のある、あるいは川崎市内で事業展開をしている企業等
NPO 法人、市民団体、教育・研究機関等 川崎市内に所在する組織、あるいは川崎市内で活動をしている組織等

※本制度においては、応募対象となる企業、団体等を「事業者」と呼ぶこととします。

3 制度スキーム

- ・「登録」と「認証」の2段階とする。
- ・「登録」は、より多くの事業者の参加を促すため、簡素な手続きで登録できる仕組みとし、間口を広くする。
- ・「認証」は、SDGs への具体的な行動を促すため、取組の自己評価や今後に向けた目標設定などを求める。



4 申請の手続きとインセンティブ

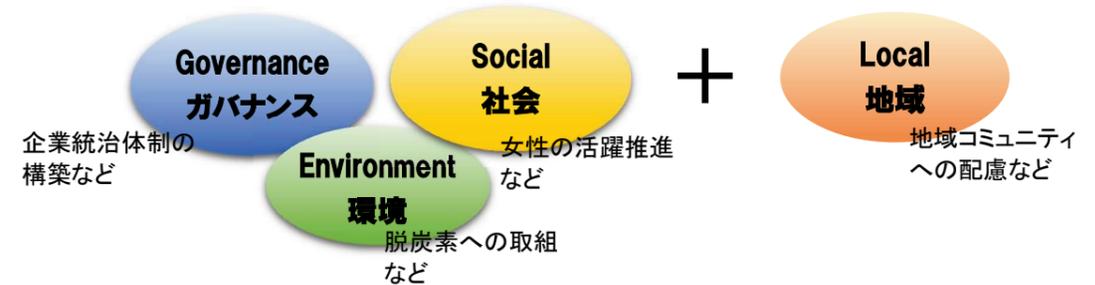
	登録（パートナー）	認証（ゴールドパートナー）
手続き	登録申請書で SDGs に取り組む意思を表示	登録申請書に加えて自己チェックシートと認証申請書で 自己評価と目標設定
インセンティブ	<ul style="list-style-type: none"> ・登録証の交付 ・登録事業者用ロゴの使用許可 ・プラットフォームへの参加資格付与 ・市 HP で事業者名を公表 	<ul style="list-style-type: none"> ・認証書の交付 ・認証事業者用ロゴの使用許可 ・プラットフォームへの参加資格付与 ・市 HP 等で事業者の取組を紹介 ・融資制度による優遇措置（信用保証料補助など） <p>※その他、公共調達等における活用等について検討中</p>

5 募集スケジュールと認証期間

- ・概ね 3 か月に 1 回募集を行い、登録・認証期間は、**認証日等から 3 年間**とする。

6 認証の評価項目

- ・認証を目指す事業者が作成する「自己チェックシート（第2号様式）」では、環境、社会、ガバナンス、地域の4つの分野で自己の取組を評価し、**各分野において1つ以上の取組があること**、全体として**一定の水準（点数）を満たしていること**を要件に、認証を行う。



7 申請様式（イメージ）

(1) 登録申請書

(様式第1号)

提出日: 年 月 日

川崎市SDGs登録・認証制度 登録申請書

宣言: 私たちはSDGsの達成に向けて取り組みます。

SDGs に取り組む意思を宣言

1. 概要 ※必須

（ふりがな） 企業・団体名	()
形態	大企業、中小企業、NPO、大学、団体、その他()
業種	
代表者役職・氏名	
所在地(本社)	
所在地(県内)	
担当者氏名	
電話番号	
メールアドレス	

2. SDGsへの貢献に向けたトップのコミットメント又は組織としての方針 ※必須

3. SDGsへの貢献に向けて現在行っていること(もしくは今後行いたいこと) ※任意

4. 登録後の活動イメージや期待(あてはまるものを全てチェックしてください) ※必須

<input type="checkbox"/> 登録団体間の交流会に参加したい
<input type="checkbox"/> SDGs関連のイベント・セミナーに参加したい
<input type="checkbox"/> 登録団体間のマッチング支援を受けたい(マッチングの希望業種:)

(2) 自己チェックシート (認証事業者用)

川崎市SDGs登録・認証制度 自己チェックシート

はじめに、川崎市の以下の制度のうち、既に登録認証を受けているものがありましたら口にチェックを入れてください(複数選択可)。(チェックしたものについては、登録認証を受けた年をご記入ください。)

- 「かわさき☆えるぼし」認証制度
- 川崎ものづくりブランド/かわさき基準(KIS)認証制度
- 低CO₂川崎ブランド/川崎メカニズム認証制度

既存の川崎市の登録・認証制度との連携
(他制度で認証を受けていれば、関連する項目に自動でチェックがつくなど、記入者の負担を減らす)

KS-E-2	気候変動への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●自社の事業活動において、省エネに取り組んでいる。 ●自社の事業活動において、再生可能エネルギーの利用を進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○省エネ型設備への更新や燃料転換などを実施している。 ○低公害車・EV・燃料電池車等を導入している。 ○省エネ運動・節電活動を実施している。 ○再生可能エネルギー(太陽光、風力、水力、地熱、バイオマス等)を利用している。 ○再生可能エネルギー(太陽光、風力、水力、地熱、バイオマス等)の導入を検討している。 ○再生可能エネルギー(太陽光、風力、水力、地熱、バイオマス等)の導入を検討している。 	7.3, 8.4, 9.4, 13.3 7.3, 8.4, 9.4, 13.3 7.3, 8.4, 13.3 7.2, 9.4, 13.3	
KS-E-6	製品・サービスを適した環境問題の解決	●製品・サービスの提供を通じて、環境問題の改善に貢献している。	<ul style="list-style-type: none"> ○省エネルギー、再生可能エネルギー促進、廃棄物削減、リサイクル、海洋プラスチック汚染防止など、大気、水質、土壌の汚染防止や浄化につながる技術・製品を提供している。 	12.4, 12.5, 13, 14, 15	

記入の負担を減らすべく、極力自由記述を減らし、選択肢形式に

事業活動に関連するSDGsの目標とターゲットを明示し、気付きを提供

(3) 認証申請書 (認証事業者用)

川崎市SDGs登録・認証制度 認証申請書

提出日 ○年○月○日
 企業名 ○株式会社
 担当者氏名 XX XX
 担当者連絡先 XXX-XXX-XXXX.jp

当社は、SDGsへの貢献に向けて、具体的に以下の取り組みを進めることを宣言します。

【記入要領】

- ・(様式第2号)自己チェックシートの「選択番号」欄に1~3の数字を入れ、重点的に取り組む項目について、太枠内をご記入ください。
- ・「2030年に向けた目標」は「指標例」を参考にご記入ください(定性目標も可)。
- ・「目標に対する進捗測定方法」も併せてご記入ください。
- ・「進捗状況」については、新規登録時は記入不要です。3年に1回進捗管理を行います。

今後の重点取組項目をチェックシートの中から選び、具体的な取り組み内容と、今後の目標を記入

選択番号	項目	取り組み	取り組みの具体的な内容	対応するSDGsゴール	対応するSDGsターゲット	指標例	2030年に向けた目標	目標に対する進捗測定方法	進捗状況(記載年月日)
1	●製品・サービスの提供を通じて、環境問題の改善に貢献している。	省エネルギー、再生可能エネルギー促進、廃棄物削減、リサイクル、生物多様性保全、海洋プラスチック汚染防止など、大気、水質、土壌の汚染防止や浄化につながる技術・製品を提供している。	製品使用時の電力消費削減に貢献する電子デバイス部品を開発・提供する。		6, 7, 9.4, 11.5, 11.6, 12.4, 12.5, 13, 14, 15	製品ライフサイクルを考えたCO ₂ 排出量等(例: 製品使用時のCO ₂ 排出量の削減率等)	製品使用時のCO ₂ 排出量の削減 →2030年までに、2018年度比30%削減	製品開発部が年1回測定し、総務部が自社のHPに公表する。	
3	●顧客、仕向先(サプライヤー等)の活躍支援に関する取り組みがある。	高効率向けLED照明器具の設置など、職場環境を改善している。	勤務でできる環境を改善する。		8.8, 10.2	高効率LED照明器具の設置率等	照明器具の設置率を2.3%以上とする。	し、総務部が自社のHPに公表する。	

記入の負担を減らすべく、選んだ取組項目に対応するSDGsの目標やターゲットは自動表示(グレー部分)

指標例も自動表示されるため、目標設定の際に参考になる

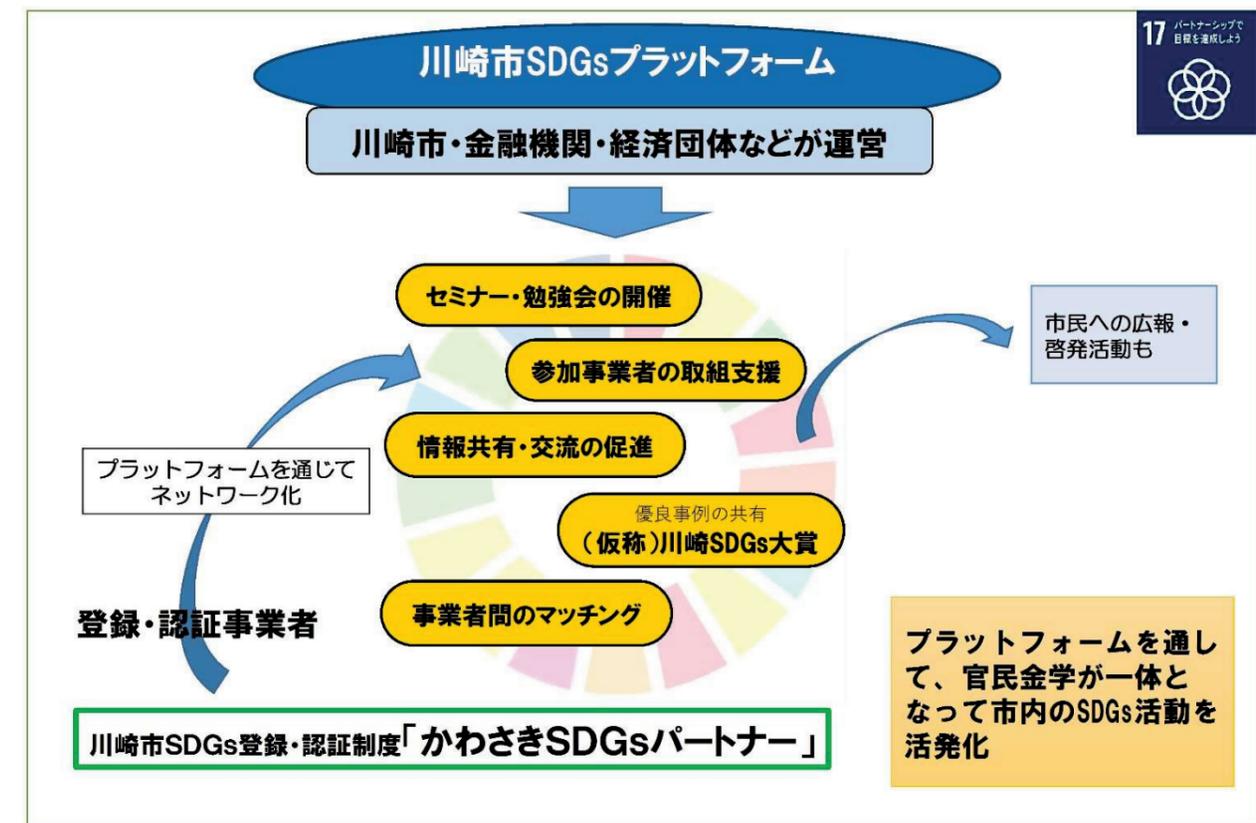
8 横浜市との連携

- ・横浜市でも同様の制度(横浜市SDGs認証制度「Y-SDGs」)の運用を開始している。
- ・活動領域が両市に及ぶ事業者も多いことから、両市の制度を利用する場合に手続きを簡素化するなど、連携の方策を協議・検討中。

9 「(仮称)川崎市SDGsプラットフォーム」を通じた登録・認証事業者のネットワーク化

- ・登録・認証制度の構築により、市内においてSDGsに取り組む事業者の増加が見込めることから、事業者の取組を支援するとともに、企業、市民団体、金融機関、経済団体等の多様なステークホルダーをつなぎ、新たな取組を創出することで市内の活動を活性化させる仕組みとして、プラットフォームを構築する。

(仮称)川崎市SDGsプラットフォームのイメージ



IV 今後のスケジュール

- ・令和3(2021)年3月3日~20日 かわさきSDGsパートナー第1回募集開始
- ・令和3(2021)年4月 第1回登録・認証事業者の発表、プラットフォームの運用開始